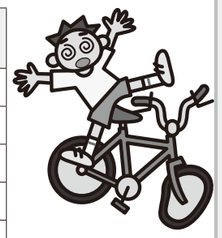
自転車事故発生にブレーキを！
―みんなで築こう無事故のまち―

問 環境防災課 ☎84-0314



開成町では、自転車による交通事故が多発しています。自転車を運転するときは、お互いが交通ルールを守り、思いやり・ゆずる心を持って交通安全を心掛けましょう。

開成町で発生した自転車事故の件数

	全事故件数	自転車事故件数	全事故に占める自転車事故の割合
平成20年	70件	20件	28.6%
平成21年	65件	14件	21.5%
平成22年	67件	10件	14.9%
平成23年	64件	15件	23.1%
平成24年	52件	19件	36.5%

自転車事故多発地域に指定

神奈川県交通安全対策協議会（会長　神奈川県知事）では、平成24年中の全事故に占める自転車事故の割合が県内平均23・2パーセントより、3パーセント以上高い17市区町を「自転車事故多発地域」に指定しました。

開成町は、平成24年中の人身事故52件のうち、19件が自転車の絡む事故であったため、自転車事故の割合が36・5パーセントとして「自転車事故多発地域」の指定を受けました。

自転車事故を抑制するため警察署をはじめ、関係機関・団体等との連携協力のもと、地域の特性に応じた対策を推進していきます。

平成24年度中の自転車事故の発生状況

平成24年中の19件の自転車事故のうち、8件が出合頭での衝突事故となっています。そのため、一時停止や徐行の意識が低いことがわかります。また、高齢者が関わっている事故が多いことから、交通ルールを再確認できるような安全教室を開催していきます。

19件の事故の多くは、駅前や吉田島交差点など、交通量の多い場所で発生しており、車の前後確認不足や右折時の歩行者、自転車有無の確認不足が原因となっています。

①普通乗用車が右折時に横断中の自転車と衝突

②右折普通乗用車が横断中の自転車に正面衝突

③右折軽乗用車と横断中の自転車が側面衝突

開成町の取り組み

町では自転車による事故を減らすため平成25年度は次の取り組みを実施します。

自転車乗り方街頭指導

自転車の乗り方マナー向上のため、事故多発地点や危険と思われる箇所で、町交通指導隊、松田警察署員の協力により、5月8日(水)、10日(金)の2日間（時間はいずれも17時～18時）、啓発チラシや啓発物品を配布し、自転車の利用者や歩行者に安全を呼びかけました。

今後も、継続的に啓発活動を続けていきます。

自転車の利用者に安全を呼びかける交通指導隊

高齢者自転車の安全な乗り方教室

高齢者を対象に開催された「チリリンスクール」

高齢者が事故に関わっているケースが多いことから、町交通指導隊、神奈川県警本部交通安全教育隊、松田警察署員、松田自動車学校、松田町と協力、連携して、高齢者を対象にした自転車の安全な乗り方教室「チリリンスクール」を5月20日(月)に実施しました。

当日は雨天のため、実地研修は中止となってしまいましたが、神奈川県警本部交通安全教育隊による、交通安全講座のみ実施しました。参加者は、自転車に乗るときに注意する交通標識の説明を受け、交通ルールの重要性を学習しました。

その他、動体視力と夜間視力の計測、JAFシートベルトコンビンサー（事故衝撃体験マシーン）を体験しました。

参加した男性は「時速5キロでこの衝撃であれば、時速40キロだとどうなるのだろうか」と話していました。

今回の教室は松田町と連携して実施しましたが、今後も継続していきます。

啓発キャンペーン

夏の交通事故防止運動期間中、町交通指導隊、松田警察署の協力により開成水辺スポーツ公園で7月27日(土)に正しい自転車の乗り方をPRするための啓発キャンペーンを行いました。

交通安全教室

町交通指導隊、松田警察署と協力、連携して、文命中学校の生徒、学生を対象に自転車の乗り方をPRするキャンペーンを11月に開催します。

自転車運転免許講習

子どもたちが自転車を乗り始める小学生の年代から自転車のマナーやルールを習得してもらうため、「子ども自転車運転免許講習」を5月31日(金)に開成小学校及び開成南小学校の4年生の児童（開成小学校91人、開成南小学校97人）を対象に実施しました。

参加した子どもたちは、道路標識や自転車の交通ルールを学び、校庭に作られた模擬コースで、松田警察署や町交通指導隊の指導を受けながら自転車の安全な乗り方を学びました。

後日、両小学校の4年生全員に町長から「自転車運転免許証」が、松田警察署からは協賛店で自転車の安全点検が無料で受けられる「チリリンカード」が交付されました。有効的に活用して、交通安全に心掛けましょう。

開成小学校での自転車運転免許講習

開成南小学校での自転車運転免許講習